

令和元年度病虫害発生予察注意報第6号

令和元年9月2日
愛知県

作物名：水稻（普通期栽培）

病虫害名：トビイロウンカ

1 発生地域 県内全域

2 予想発生程度 やや多い

3 注意報発令の根拠

(1) 予察灯で8月9日から22日にかけて大口町で5頭、東浦町で1頭、豊川市で7頭のトビイロウンカ（図1）が誘殺された。

(2) 8月下旬の本田すくいとり調査において、豊田市のは場で本種を確認した。

(3) 8月29日時点で東三河地域の複数は場で、本種による坪枯れ（図2）を確認した。

(4) 名古屋地方気象台8月29日発表の1か月予報では、気温が高いと予想されており、今後も本種の発生に好適な条件が続くと予測される。

4 防除上注意すべき事項

(1) 本種は地域やは場により発生状況が異なるため、坪枯れの初期症状（図3）を見落とさないようは場の見回りを十分に行い、本種が寄生している場合は、直ちに防除する。

(2) 坪枯れが確認されたは場周辺では、本種が発生している可能性が高いので、早急に防除する。

(3) 本種は株元に生息するので（図4）、液剤や粉剤を使用して防除する場合は、株元に薬剤が十分かかるように散布する。

(4) 粒剤を使用する場合は水田を湛水し、早急に散布する。

(5) 防除薬剤は表を参考に選択する。

(6) 収穫期近くになって坪枯れの初期症状が確認された場合は、できるだけ早く収穫を行う。



図1 トビイロウンカ成虫（長翅型）



図2 トビイロウンカによる坪枯れ



図3 坪枯れ初期症状



図4 株元に群がるトビイロウンカ
(成幼虫)

表 トビイロウンカに対する主な防除薬剤

薬剤名	成分名	使用時期	本剤の使用回数	IRACコード
キラップフロアブル キラップ粉剤DL	エチプロール	収穫14日前まで	2回以内	2B
チェス水和剤	ピメトロジン	収穫14日前まで	2回以内	9B
トレボン乳剤	エトフェンプロックス	収穫14日前まで	3回以内	3A
アルバリン/スタークル粉剤DL				
アルバリン/スタークル粒剤	ジノテフラン	収穫7日前まで	3回以内	4A
アルバリン/スタークル顆粒水溶剤				
エクシードフロアブル	スルホキサフロル	収穫7日前まで	3回以内	4C
スタークル液剤10	ジノテフラン	収穫7日前まで	3回以内	4A
トレボン粉剤DL	エトフェンプロックス	収穫7日前まで	3回以内	3A

使用回数は同一成分の剤を含む成分ごとの総使用回数に注意する

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細は、https://www.jcpa.or.jp/labo/pdf/2019/mechanism_irac02.pdfを参照する。

薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守り、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病虫害防除室

電話：0561-62-0085（内線471）